

∞「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画について

背景

○海洋プラスチックごみ

- 2019年6月に開催されたG20大阪サミットで、「2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにする」ことをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」がG20首脳宣言において共有されました。
- 2025年に大阪・関西万博を控える大阪府、大阪市は、G20開催に先立ち、2019年1月に「プラスチックごみゼロ宣言」を共同で行いました。

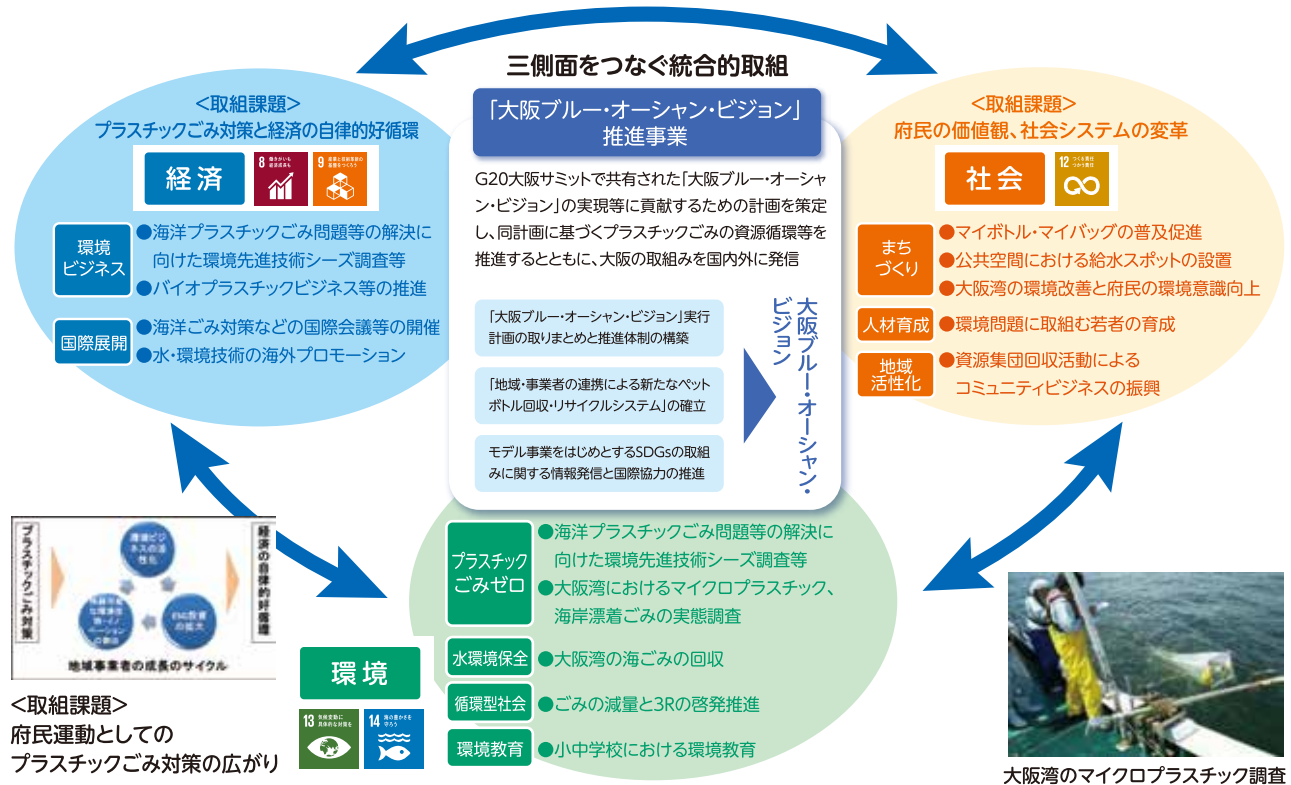
○大阪市の水環境

- 2019年12月に策定された「SDGs達成に貢献する環境先進都市」の実現をめざす「大阪市環境基本計画」の水分野の個別計画として施策を展開していきます。

自治体SDGsモデル事業

- 大阪府・大阪市の共同提案が内閣府の「SDGs未来都市」に選定され、また、自治体SDGsモデル事業として『大阪発「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進プロジェクト』が選定されました。
- 大阪府・大阪市では、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を世界に先駆けて推進するため、住民や企業、市町村など様々なステークホルダーへの関わりがあるとともに他の自治体等への波及が見込まれ、SDGsの特性をわかりやすく体现できる取組みとして、経済、社会、環境の三側面から、3R+Renewableなどの普及啓発や、海岸漂着ごみの実態調査、海ごみの回収などを府域全域で幅広く実施します。

『大阪発「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進プロジェクト』



本推進事業は、大阪府・大阪市の共同で自治体SDGsモデル事業として実施するため、府が策定した「大阪府海岸漂着物等対策推進地域計画」と目標を共有化し、相互に計画や施策の内容を反映しています。

計画期間

- 目標年度はSDGsのゴールを踏まえ2030年度とし、2025年度を目途に見直しを実施します。